

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の 世界遺産登録の推進について

世界遺産登録に向け、関係自治体が一体となって取り組んできた「北海道・北東北の縄文遺跡群」については、残念ながら今年度のユネスコへの推薦が見送られた。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、狩猟・採集・漁労を基盤として定住が開始、発展、成熟した縄文文化を今に伝えるとともに、多様な地理的環境の下、持続可能な資源利用により生業を営んだことを示す物証であり、人類共通の遺産として普遍的な価値を有するものである。

世界遺産登録の早期実現に向け、来年度こそユネスコへの推薦を得られるよう、4道県及び関係市町の一層の連携のもと、推薦に向けた諸課題の解決に加えて、気運の醸成についても努めていく必要があることから、これまで以上に4道県が連携を図り、全力で取り組んでいく。

平成29年8月31日

北海道知事	高橋	はるみ
青森県知事	三村	申吾
岩手県知事	達増	拓也
秋田県知事	佐竹	敬久